

令和6年度 学校評価報告書

1 教育目標

- ・ 清新・澁刺・颯爽とした人を育てる。
- ・ 思いやりの心と協働の精神を育み、社会に貢献できる人物を育成する。
- ・ 産業人として必要な資質を養うとともに、一般的な教養を有する人財を育成する。

2 本年度の努力点

| 学校教育の努力点 | 特に大切にしたい要素 | | | | | |
|---|------------|----|-----|----|---|----|
| | I | II | III | IV | V | VI |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様性を理解し、互いに認め合う力を育成する。 ○ 身だしなみ、言葉遣い、時間順守などに気を配り、基本的な生活態度を身につけさせる。 ○ 一人一人が自立して学び続けられるように、多様な人との学び合いや夢中で探究する学びを提供する。 ○ 学校の情報を広く保護者や地域に知らせ、成果の点検に努める。 | | | ○ | ○ | | |

3 評価結果の概要

| 対象 | 項目 | 具体的方策 | 評価結果と課題、次年度への改善策等 |
|------|---------------------------|---|--|
| 学習指導 | 生徒中心のビジネス教育の実現 | <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス教育を支えるICT環境の整備 ・生徒中心の学びへ変革するカリキュラム・マネジメントの実践 | <ul style="list-style-type: none"> ・全ての普通教室及び特別教室に、無線LAN、プロジェクター、スクリーンを整備完了。 ・全てのHR教室にタブレット保管庫を整備完了。 ・生徒中心の学びへ変革するために、「課題研究」、「デュアルシステム」等において、生徒一人ひとりの興味・関心や進路希望等に対応したビジネス教育を実践した。 → 教員一人ひとりが学校教育目標を意識して能動的に授業改善を推進できるカリキュラム・マネジメントの仕組みづくりが必要。 |
| 生徒指導 | ビジネスの担い手として相応しい自立した社会人の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ指導・遅刻指導等による基本的な生活習慣の確立 ・インクルーシブ教育、人権教育、命の教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみを整える指導を継続し、生徒が集中して学習に向かうことができる環境づくりを推進した。 ・基本的な生活習慣の確立のため、遅刻の多い生徒に対して個別に「ゆとり登校指導」を実施した。 ・人権教育、いじめ・自殺防止、インクルーシブ教育に係る講話（外部講師含む）を積極的に実施した。 ・生徒の抱える家庭環境が複雑化・問題化する中で、生徒指導と教育相談を一体化させ、組織的に生徒を支援した。 → 遅刻者数は前年度と比べ横ばい（高止まり状況）であり、生徒の状況把握や遅刻指導の在り方等について検討が必要。 |
| 進路指導 | 生徒の未来を切り開く進路指導の実践 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒のキャリアを切り開く系統的なキャリア教育の実践 ・生徒一人ひとりの多様なニーズに対応した進路指導の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア探究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」（1～3年次）において、生徒に自己分析や将来のキャリアについて深く考える機会を設け、系統的にキャリア教育を実践した。 ・生徒の多様な家庭環境等を考慮し、キャリアナビゲーター、キャリア支援アドバイザー、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と連携し、生徒一人ひとりの個別のニーズに対応した進路指導を実施した。 → 個別相談に積極的に参加しない生徒への対応が課題であり、個別相談の周知・実施方法等の検討が必要。 |

4 アンケート等実施状況及び評価結果の公表について

| アンケート | 実施状況 | 結果公表 | 公表時期 |
|-------|--------------------|------|-----------------------|
| アンケート | 6月 生徒対象学校生活アンケート① | 結果公表 | 1月 自己評価まとめ |
| | 7月 保護者対象学校教育アンケート | | 2月 学校評議員会にて結果報告 |
| | 12月 生徒対象学校生活アンケート② | | 3月 ホームページにて結果報告 |
| | | | 5月 PTA役員会、PTA総会にて結果報告 |